

前期の教育活動の振り返り

1 学力づくり（「主体的・対話的で深い学び」の実現）

<分かる・できる授業>

(1) 配付された一人一台端末 iPad の有効活用について

- ・視覚的教材（画像や動画、オンラインコンテンツ等）により学習内容の理解を深めたり、一問一答形式による問題演習にくりかえし取り組んだり、各教科における基礎・基本の定着を図るための端末の活用を進めています。学校でも家庭でも、自分のペースでくりかえし学習することにより、成果を上げることができています。



例

理科部作成 復習動画

スライドと音声で説明をしています。

密度 ※体積…見た目の大きさ
密度…体積1cmあたりの質量

4cm で 80g
1cm で 20g

この物質の密度は **20**

密度を出すには、質量(g)を体積(cm)で割る！

密度 = 質量(g) ÷ 体積(cm)

密度 = $\frac{\text{質量(g)}}{\text{体積(cm)}}$

質量し
密度 体積

(2) 家庭学習の計画づくりについて

- ・家庭に帰ってからの学習計画を考える時間を終学活で設定し、生徒の主体性を育むことを大切に指導・支援にあたっています。

学習充実度アンケートより

- ＊家庭で自主学習（予習・復習等）を行っている。全校：54% (R3) ⇒60% (R4) ↑
- ＊目標時間を決めて、家庭学習に取り組んでいる。全校：52% (R3) ⇒56% (R4) ↑

例

時	教科	内容・宿題・準備するもの	今日の記録
1	数学	R24: 予習プリント	今日は、数学の授業で、積極的に黒板に問題を解いたり、発言する人が多かった。皆が積極的に、自分も取っかかり、前へ出る環境ができて、とてもよかった。
2		ワーク	
3	英語	エッセイの書き方	
4	理科	原子記号、単位、確認	
5			
6			

<生徒のコメント> 忘れていた内容が復習することができました。メスシリンダーを使って密度を求めることが苦手だったけれど、今回の課題プリントは全問解くことができました。

家庭学習計画 実行したことにチェック！

(3) 教科部における各種テストの結果分析と授業改善について

- ・各種テストの結果を分析し、生徒の学習内容の定着度や弱点把握に努めています。生徒が苦手としている分野については、復習により多くの時間を割きながら、指導方法や手立ての工夫を行い、学力向上を図っています。

密度の単元が弱いので、デジタル教材も配信し、復習に力を入れよう。

<思考力・判断力・表現力等の育成>

- ・各教科の授業において、意見交換（チャットタイム）や小グループでの協働的な活動を積極的に取り入れています。様々な考え方に触れ、個の思考を深めることにつながっています。



<仲間づくりとの関わりの中で>

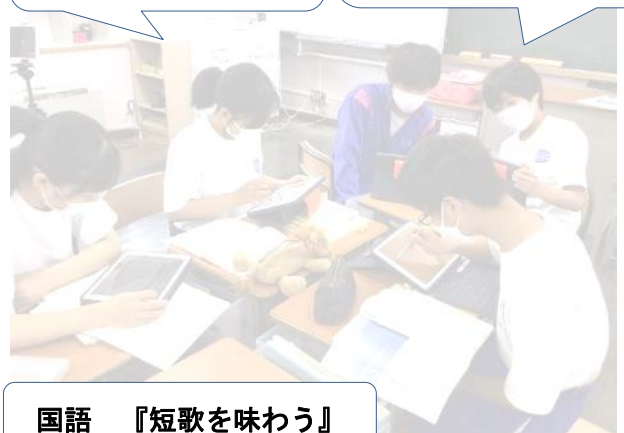
- ・リアルな対面を通しての意見交換だけではなく、iPad 端末を利用した意見や考えの発信にも取り組んでいます。iPad 端末を活用した意見交換は、短時間で多くの仲間の考えにふれることができ、効率よく、話し合いができています。また、挙手をして発言することが苦手な生徒も、抵抗なく自分の意見や考えを発信できています。今後も、他者と関わり合う中で、多数の異なった意見や考えから折り合いをつけていく経験を積ませていきます。

学習充実度アンケートより

- ＊クラスのみんなと協力して学習に取り組んでいる。全校：95% (R3) ⇒95% (R4)

どうやってこの短歌のことを伝える？

この短歌 作者が大学生のときに詠んだらしい。これ伝えたいね。



国語 『短歌を味わう』

2 仲間づくり（いじめをしない、許さない、命を大切にできる意識の醸成）

＜道徳教育の充実＞

- ・毎時間の学びに授業者がコメントを加え、生徒の気付きの視点を広げたり、感じたことを価値付けたりしながら、道徳科の授業実践を重ねています。

道徳ノート 2年生道徳科『向上心 個性の伸長』での授業実践より

私は竹下選手と一緒にセッターで身長が低いです。背の高いアタッカーにあげるのが大変です。不利なこともあるけど、それを強みに変えるためにコート内を縦横無尽に動き回れるようにしたいと思っています。難しいことだと思うけど、少しずつ変えていけるようにしたいです。（生徒）

＜授業者のコメント＞

竹下選手の成功の陰には弱点を乗り越えようとする努力があったんだよね。弱点こそが竹下選手のプレースタイルをつくった。弱点と向き合ったからこそ、彼女の成功があるのですね。（G先生）



＜人権教育、同和教育の充実＞

- ・校則の見直し、生徒会組織の見直し（「城西中学生徒会ニュースタイル」）等を通じて、生徒に多様性を尊重する姿勢が育ってきています。
- ・今後も道徳教育、部落問題学習を中核とした同和教育・人権教育の充実を図るとともに、生徒会活動ともタイアップをし、いじめを許さない学校づくりに全力で取り組んでいきます。

＜学級経営＞

- ・「自分は誰かとつながっていける」「自分は他者のためになれる」「自分は居場所をつくることができる」「誰かのためになれる自分を少し誇れる」そのような思いをもてる中学時代が過ごせるように学級・学年を今まで以上に民主的な場として経営していきます。

城西七[°]ールアンケート（「いじめ防止学習[°]う[°]う[°]」に基づく、当校独自の[°]う[°]う[°]」より

＊今のクラスはお互いを認め合う雰囲気だ

3年生：94%（R3）⇒96%（R4）↑ 2年生：93%（R3）⇒97%（R4）↑ 1年生：84%

3 からだづくり（学力・仲間を支えるからだ）

＜活動を支える体力の向上＞

- ・部活動におけるClassroom（iPad端末のアプリ）を活用し、家庭でできるトレーニング法を配信したり、部員各自の取組を紹介し合ったりして情報共有しています。生涯にわたり運動に親しむ資質や能力を育んでいけるように保健体育の授業や部活動をはじめとしたスポーツ活動に取り組んでいます。



＜食育の推進＞

- ・給食だよりを活用した昼の放送等でも食に関する情報を発信し、食事マナーや食生活の向上に取り組んでいます。

＜自立した社会生活を送るための知識・技能の習得＞

- ・地域子どもを育てる会で作成している生活習慣改善啓発リーフレットを保健体育の授業の中でも活用しています。「我が家のルール」は授業後、家庭に持ち帰り、保護者の方からも確認していただきました。親子の会話を増やすきっかけにもなったという肯定的な声が面談等でもありました。
- ・市から貸与されているiPad端末の使い方については、生徒をルールでしぼるのではなく、不適切な使用があった場合は、その都度、生徒と職員とともに考える姿勢を大切にしながら、指導にあたっています。生徒自らが課題に気が付き、適切な活用法について考え、行動に移すプロセスが重要だと考えています。



生活習慣アンケートより ＊わが家のルールを守っている。

3年生：77%（R3）⇒77%（R4） 2年生：80%（R3）⇒84%（R4）↑ 1年生：83%